

令和6年度（第3期）

事業報告書

令和6年4月 1日から

令和7年3月31日まで

一般財団法人みらい創造財団朝日のあたる家

1 法人の概況

(1) 設立年月日 令和4年11月18日

(2) 定款に定める目的

当法人は、全国的に地域の過疎化、少子高齢化が進むなか、東日本大震災を経験し弊害が顕著に表れている岩手県内において、住み慣れた地域で、人々が支えあい、生きがいをもって暮らせる社会参加拠点や地域モデルをつくり、他分野をつなぎ、多世代が参加できる地域社会の活性化を実現し、もって幸福度の高い高齢化社会の実現に寄与することを目的とするとともに、その目的に資するため、次の事業を行う。

(3) 定款に定める事業内容

- ① 地域生活支援のための訪問・相談事業
- ② 地域生活支援に携わる者の育成のための、講座・セミナーの開催
- ③ 就労の機会の創出及び相談事業
- ④ 就労の機会の創出のための応募型助成事業
- ⑤ 地域交流事業
- ⑥ 地域移動支援事業
- ⑦ 会館運営、施設の貸与
- ⑧ 地域連携事業
- ⑨ 児童、学生、及び若年層の職業体験事業
- ⑩ 児童福祉に関する事業
- ⑪ 住民の生活、まちづくりに関する調査事業
- ⑫ SDGsの連携推進に関する事業
- ⑬ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(4) 主たる事務所 岩手県陸前高田市米崎町字松峰 48 番地 1

(5) 役員に関する事項

理事の任期満了に伴い、本来であれば令和6年度第1回理事会において、理事の改選を実施すべきところ、それを怠っていた。

令和6年9月2日、代表理事が評議員全員に対して、任期満了に伴う理事の選任（再任）を決議の目的として提案書を発した。当該議案につき9月3日までに評議員の全員から書面により同意の意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項及び定款第23条の規定により、下記の理事の再任について評議員会の決議があったものとみなされた。

理事	新田國夫	令和6年9月3日就任	令和6年9月18日登記
理事	武田俊彦	令和6年9月3日就任	令和6年9月18日登記
理事	三浦まり江	令和6年9月3日就任	令和6年9月18日登記

理事 野崎貴士 令和6年9月3日就任 令和6年9月18日登記
 理事 白井薫子 令和6年9月3日就任 令和6年9月18日登記

評議員会の決議を得たので、令和6年9月9日 新田國夫理事が、再任となった理事5名の中から、新田國夫理事を代表理事とする内容の提案書を発し、当該提案につき令和6年9月11日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び定款第38条の規定により、新田國夫理事を代表理事とする決議があったものとみなされた。

代表理事 新田國夫 令和6年9月11日就任、令和6年9月18日登記

役職	氏名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
代表理事	新田 國夫	非常勤	(医)つくし会 理事長
理事	武田 俊彦	非常勤	一般) 日本在宅ケアアライアンス
理事	野崎 貴士	非常勤	社福) 朝日新聞厚生文化事業団
理事	三浦 まり江	非常勤	特非) 陸前高田まちづくり協働センター
理事	白井 薫子	常勤	一財) みらい創造財団朝日のあたる家
評議員	長澤 茂	非常勤	(医)三秋会 理事長
評議員	志藤 洋子	非常勤	一般) 日本在宅ケアアライアンス
評議員	青山 優	非常勤	(株) 朝日新聞社
評議員	五味 壮平	非常勤	岩手大学人文社会科学部人間文化課程教授
評議員	是永 一好	非常勤	社福) 朝日新聞厚生文化事業団
評議員	宮前 賢	非常勤	社福) 朝日新聞厚生文化事業団
監事	板倉 幸子	非常勤	一般) 公益アシスト 東京地方税理士会

2 事業の実施状況

今年度は休眠預金活用事業「過疎地域における若手就農者チームによる農福連携基盤構築事業」2年目の年ということで、地域の産業と既存福祉事業所とのコーディネート等、農福連携の更なる推進はもとより、令和7年度の農業特化型就労継続支援事業所開所に向けて、場所の選定・決定、職員の確保、関係機関との調整等、本格的な動きのある活動となった。

陸前高田市の農福連携実績は昨年の15件を上回る18件で岩手県内で1位となり、昨年度に引き続き、農業以外でも、大船渡市の椿茶製造会社との椿葉一次加工地域連携支援、陸前高田市内のオートキャンプ場における環境整備・施設清掃ニーズと就労支援事業所の草刈り、清掃ノウハウをつなげた連携支援と現場支援、奥州市の縫製業者におけるリサイクル羽毛の作業工程の分解でつなげた福祉連携コーディネートなど、産業の活性化と仕事を通じての多世代の社会参加の支援も行った。

りんご農家等から剪定枝処理、開墾で伐採した竹の処分は昨年度も請け負っていたが、全国的にも問題となっている放置竹林は地域の課題としても浮き彫りになり、寺や一般家庭から竹の伐採、粉碎処理の依頼も多くあった。また大船渡市の山林火災により野焼き自重の動きも高まったことから、2023 年度に休眠預金活用事業補助金で購入した粉碎機を活用して地域連携として仕事を請け負った。

農福連携も含めた産福連携として、55 件のコーディネート、障がい者・生活困窮者等の社会参加は 224 名、仲介実績額は 10,060,289 円となった。

生きがい支援としては、「令和 6 年度陸前高田市心の復興交流事業補助金」の採択を受け（事業費 1,776,000 円）、依頼を受けて伐採した竹を活用しての竹細工づくり、道具づくりのワークショップを 8 月から月に一度のペースで開催。延べ 258 名の参加があった。また、ワークショップ開催に向けての準備作業を地域住民から募り、延べ 131 名のボランティアが活躍した。ワークショップ後に個人でも製作し販売する方もおり、また参加者の中から講師が生まれるなど、地域課題の解決から資源の活用、ワークショップを通しての社会参加、生きがい・やりがいの創出といった循環をつくりあげることができた。

月間通信おはやがんす～の配布訪問も継続し、孤立防止、保有能力の活用に根差した活動によって、朝日のあたる家の活動への理解促進がなされると同時に、行政との連携、地域住民に新たなつながりを生みだすなど、安心して暮らせるまちづくりへの一助を担えた。

活動への理解促進では、ホームページへの現場の記事掲載や SNS での発信にも力を入れた。

- ・ホームページへのアクセス数：8,792 回（月平均 732 回/2023 年 11 月開設からの総アクセス数：11,552 回）
- ・Instagram 投稿への視聴回数：555,741 回（平均 3,352 回）
- ・Facebook フォロワー：290 フォロワー

<地域生活支援のための訪問・相談事業>

月刊通信「おはやがんす～」を配布しながらの戸別訪問を継続して実施。特に独居や日中独居の方の孤立を防ぎ、地域につなげることを目的として活動した。陸前高田市地域包括支援センターへの情報の提供や共有により、早期の状況把握、支援対応の一端を担えた。

<地域生活支援に携わる者の育成のための、講座・セミナーの開催>

宮古市で行われた就労相談、就労支援関係者が参加する講習会において、朝日のあたる家の農福連携支援の活動や今後の展望などを講話し、岩手県沿岸地域の障がい者支援への新たな意識づくりを行えた。

<就労の機会の創出及び相談事業>

① 農福連携

今年度も、農福連携コンソーシアム（タカタアグリコンソーシアム）を中心とする地域の農家からの依頼を受け、陸前高田市・大船渡市の既存就労支援事業所とのコーディネートを行うとともに

に、当財団の就労支援事業所開設を見据え、現場支援・現場作業にも力を入れた。

② 椿茶一次加工連携（地域連携）

2023 年度末から開始した椿茶製造会社との連携で、当財団は椿の枝を採取し希望者へ提供、一次加工した葉を 1 週間ごとに取りまとめて製造会社へ納品する中間支援も引き続き実施。椿葉の一次加工（汚れふき取り等）について朝日のあたる家を利用している高齢者等への紹介を継続している。また、就労継続支援施設、高齢者デイサービスセンターや精神障がい者デイケア施設、さらに、大船渡市社会福祉協議会や陸前高田市の就労支援センターが相談を受けている生活困窮者、就労準備訓練の方々といった多くの世代や困難を抱える方々が椿茶の一次加工に携わり、地域産業の担い手、支え手として活躍できることへの生きがい、やりがい、収入につながる支援を実施。多い方で月 5 万円ほどの収入となっている。

③ 縫製連携

奥州市の縫製会社が手掛ける再生羽毛業務のうち、回収した羽毛布団から羽毛を取り出す作業を近隣地域の就労継続支援事業所（A 型・B 型）へ連携コーディネート。りんご生産を主とする奥州市の A 型事業所においては、作業がなくなる農閑期の仕事ができることで利用者への賃金が確保され、近年受注作業が減少して困っていた B 型事業所においては、施設外就労の場ができたことで、工賃の確保はもとより利用者に張り合いも生まれ地域への社会参加も果たすことができ、縫製会社も受注拡大に結び付く動きとなっている。

④ レジャー産業施設連携

陸前高田市のキャンプ場におけるフィールド内の草刈り等環境整備、ケビン・グランピング施設・サニタリー棟の清掃、リネン交換等の作業を福祉との連携で引き続きコーディネート。環境整備においては、共に作業をしながら現場支援をするとともに、令和 7 年度開所予定の就労支援事業所で仕事を請け負うことも視野に入れノウハウを得た。
また、キャンプ場イベント等で竹細工を行いたいとの相談も受け、次年度の新たな連携にも繋がっている。

⑤ 放置竹林、野焼きの課題解決

粉碎機を購入・活用し農福連携を推進している活動が地元の新聞に掲載されたことをきっかけに、竹の伐採や処分の依頼が多くあった。既存の就労支援事業所との連携コーディネートをはじめ、当財団でも作業を請け負い、就労支援事業でも利用者とともに作業ができるよう基礎固めをした。

⑥ その他地域産業との連携

地域の農産物・水産物を使用して食品開発、製造、販売を行っている缶詰会社や食品会社の作業工程の分による福祉とのコーディネートを行った。それぞれの就労支援事業所の強みを生かしたマッチングにより、スムーズに連携が進んでいる。

令和6年度の産福連携 内訳

	連携先	事業所等	品目	作業内容	件数
1	イドバダアップル	就労B「蒼」	りんご	りんごの摘果、収穫、 植樹	5
2	ひころいちファーム	社会福祉協議会	オクラ	オクラ収穫	1
3	Hs ファーム	就労B「蒼」	いちご	花殻摘み	2
4	ファーム小金山	就労B「作業所きらり」	ピーマン	選別	1
5	畑中農園	就労B「蒼」	ピーマン	選別・軸切り	1
6		社会福祉協議会	ゆず	選別作業	2
7	軍見洞農園	就労B「蒼」	ねぎ	除草、土寄せ	2
8	北限のゆず研究会	就労B「作業所きらり」	ゆず	規格選別	1
9		就労B「あすなろホーム」	ゆず	搾汁加工	1
10		スナフキンアンサンブル	ゆず	果皮処理	1
11	株式会社 結	就労A「BAG LAB」	布団	再生羽毛	2
12		就労A「ほまれの家」	布団	縫製	1
13	スノーピーク陸前高田	就労B「青松館」	館内清掃 リネン交換	館内清掃 リネン交換	1
14		就労B「@かたつむり」	草刈り 環境整備	草刈り 環境整備	1
15	株式会社シャイン	就労B「@かたつむり」	塩	軽量・封入	1
16	タイム缶詰	就労B「あすなろホーム」	りんご	皮むき	1
17	朝日のあたる家	就労B「蒼」	草刈り・竹 伐採	草刈り・竹伐採	3
18	個人・法人	朝日のあたる家	竹	伐採・粉碎	17
19	個人・法人	朝日のあたる家	剪定枝	粉碎	7
20	陸前高田マイクロブ ルワリー	朝日のあたる家	モルト粕	受取・堆肥	1
21	タイム缶詰	朝日のあたる家	野菜くず	受取・堆肥	1
22	マルイ舗装	朝日のあたる家	しいたけ菌 床	受取・堆肥	1
23	遠野まごころ	朝日のあたる家	ぶどう	搾りかす受取 堆肥	1
計					55 件

※太字は、2024 年度新たに連携をコーディネートした農家、事業所等

農福連携実績

	2024 年度	2023 年度
コーディネート件数	18 件	15 件
受託額（仲介実績）	5,075,734 円	2,336,307 円
作業日数	227 日	273 日
作業提供時間	840 時間	952 時間
参加延べ人数	849 人	1,092 人
障がい者参加	150 人	124 人
連携事業所	7 事業所	6 事業所
連携農家	TAC9 農家+TAC 外 2 農家	TAC8 農家+TAC 外 1 農家

産福連携実績

	2024 年度	2023 年度
コーディネート件数	55 件	67 件
社会参加	224 人	250 人
受託額（仲介実績）	10,290,289 円	4,992,170 円
農福連携	5,075,734 円	2,336,307 円
椿茶連携	2,025,000 円	1,072,716 円
縫製連携	2,091,315 円	686,000 円
その他連携	1,098,240 円	897,147 円
連携 福祉関係事業所	17 事業所	8 事業所
産福連携先	29 事業所	15 事業所

<地域交流事業>

① いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操

高知市が平成 14 年に筋力向上を目指して開発したいきいき百歳体操と平成 17 年に口腔機能向上を目指して開発したかみかみ百歳体操を、毎週月曜と金曜日に実施している。60 歳代～80 歳代が参加し、体操の後はお茶を飲みながらの語らいの場にもなっている。令和 6 年度は 97 回開催。参加人数は 498 名。（前年度は 93 回/498 名）

② 手芸の輪

震災後、避難所や仮設住宅で暮らす女性たちに、手芸を通じた心身のケアやコミュニティ再生への支援が多くあったことから、新しい仲間づくりの一環として開催している。講師などは置かず、それぞれの作りたいものを自分のペースで作り上げていく時間が持てており、少しずつではあるが新メンバーも加入しながら継続している。令和 6 年度は 45 回開催。参加人数は 301 名。（前年度は 50 回/307 名）

③ 囲碁サロン

40代～90代が参加している。交流の場に出ることが少ない男性の居場所づくりとなっており、移動の面での互助も見られた。

令和6年度は47回開催。参加人数は235名。(前年度は50回/321名)

④ みんなでごはん

保有能力の活用、孤食の防止、心身の安定、脳の活性化を目的としており、ひとりひとりが自主性や特性に応じて役割を担いながら、毎回賑やかな時間をつくることができた。

令和6年度は8回開催。参加人数は178名。(前年度は9回/178名)

⑤ 令和6年度陸前高田市心の復興交流事業

復興庁「心の復興」事業に基づく陸前高田市の「心の復興交流事業」への申請・採択により、地域資源である竹を活用したワークショップを開催。

被災者をはじめとする地域住民の新たな繋がりづくり、居場所づくりや地域住民の主体的な参加を視野に活動した。

ワークショップへの参加は延べ258名、ワークショップ開催準備ボランティア参加は延べ131名。

被災後に転居後、初めて再会した方々、男性同士協力して取り組む姿も見られた。

参加者の中から新たなボランティア、竹細工講師も創出され、また、楽しさ・やりがいを感じ個人としても作業に取り組まれる方々が生まれる等生きがい・やりがいを創出できた活動となり、地域の資源への気づきや利活用の大切さ・おもしろさへの関心も高めることができた。

※()は昨年度数

	いきいき百歳体操 かみかみ百歳体操		手芸の輪		囲碁サロン		みんなでごはん	
	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数
4月	61 (36)	9 (8)	33 (20)	5 (4)	25 (27)	4 (4)	22 (なし)	1
5月	56 (36)	9 (8)	29 (26)	4 (5)	25 (26)	5 (4)	22 (なし)	1
6月	68 (47)	8 (7)	24 (22)	4 (4)	23 (27)	4 (4)	26 (20)	1
7月	83 (41)	9 (7)	17 (32)	4 (5)	22 (23)	5 (4)	23 (17)	1
8月	50 (26)	8 (6)	17 (16)	3 (3)	14 (37)	3 (5)	なし(なし)	
9月	76 (44)	9 (9)	28 (20)	4 (4)	21 (19)	4 (4)	24 (20)	1
10月	65 (48)	8 (9)	25 (33)	4 (5)	21 (29)	4 (4)	なし (24)	
11月	80 (42)	9 (8)	30 (25)	3 (4)	21 (31)	4 (5)	17 (25)	1
12月	57 (39)	7 (8)	26 (29)	4 (4)	17 (23)	4 (4)	22 (29)	1
1月	39 (35)	7 (7)	20 (25)	3 (4)	19 (30)	4 (4)	22 (20)	1
2月	53 (54)	8 (7)	29 (27)	4 (4)	21 (24)	4 (4)	なし (30)	

3 月	43 (50)	6 (9)	23 (32)	3 (4)	6 (25)	2 (4)	なし (30)	
合計	731(498)	97(93)	301(307)	45(50)	235(321)	47(50)	178(215)	8(9)
	人	回	人	回	人	回	人	回

心の復興交流事業

日時	内容	参加者数
8/22	竹灯りづくりワークショップ	21
9/26	ウインドスピナーづくりワークショップ	27
10/24	熊手づくりワークショップ	23
11/28	竹ぼうきづくりワークショップ	31
12/26	ミニ門松づくりワークショップ	41
1/13	親子で竹灯りづくりワークショップ	56
2/4	四つ竹で音楽を楽しもう！	17
2/11	竹灯りづくりワークショップ	38

<会館運営、施設の貸与>

(会館運営)

朝日のあたる家 開館日：月・火・水・金・土

開館時間：9:00～17:00

休館日：木・日 (GW、夏季、年末年始などは計画に応じて)

開館時間内はどなたでも立ち寄れる場所として開放。(貸し切りなし)

令和 6 年度 プログラム参加者 1,590 名

イベント参加者 578 名

その他来館者数 2,304 名

来館者合計 4,494 名

(施設の貸与)

コンサートや講演会などの地域住民に開かれたイベントや地域交流のためのサークル活動に対して無償で場所を提供している。イベントに関しては、参加費や入場料は無料であることを基本とする(材料費は良しとする)。

令和 6 年度 不定期イベント数 26 回・参加者数 536 名

定期イベント数 9 回・参加者数 42 名

イベント参加者合計 578 名

日にち	イベント名	参加者数
4/13	「細海かずのこ」占いの部屋	1
4/16	リトミックあそび	8
5/31	ラブフルート演奏交流会	15

6/8	ほっとカフェ	33
6/18	リトミックあそび	6
6/22	「細海かずのこ」占いの部屋	1
8/22	竹灯りワークショップ（心の復興）	21
9/13	Ruck 寄席	15
9/17	アンサンブル・ふあさふあすコンサート	12
9/21	プロジェクトさとわ 針きゅうマッサージ	14
9/26	ウインドスピナーワークショップ（心の復興）	27
10/1	親子でふれあいあそび	14
10/11	体力測定	9
10/12	ほっとカフェ	32
10/24	熊手づくりワークショップ（心の復興）	23
10/26	方言であそぼう	14
11/22	佐藤音楽教室発表会	32
11/28	竹ぼうきづくりワークショップ（心の復興）	31
11/29	リトミックあそび	16
12/26	ミニ門松づくりワークショップ（心の復興）	41
1/13	親子で竹灯りづくりワークショップ（心の復興）	56
1/26	ポッピーキッズコンサート	25
2/4	四つ竹で音楽を楽しもう！（心の復興）	17
2/8	ほっとカフェ	31
2/11	竹灯りづくりワークショップ（心の復興）	38
2/12	消防防災訓練	4
計	26 件	536 人

<地域連携事業>

① 椿茶一次加工連携（産福連携）

2023 年度末から開始した椿茶製造会社との連携で、当財団は椿の枝を採取し希望者へ提供、一次加工した葉を 1 週間ごとに取りまとめて製造会社へ納品する中間支援も引き続き実施。椿葉の一次加工（汚れふき取り等）について朝日のあたる家を利用している高齢者等への紹介を継続している。また、就労継続支援施設、高齢者デイサービスセンターや精神障がい者デイケア施設、さらに、大船渡市社会福祉協議会や陸前高田市の就労支援センターが相談を受けている生活困窮者、就労準備訓練の方々といった多くの世代や困難を抱える方々が椿茶の一次加工に携わり、地域産業の担い手、支え手として活躍することへの生きがい、やりがい、収入につながる支援を実施。多い方で月 5 万円ほどの収入となっている。

② 陸前高田市通所型サービス B 事業

要支援者及び介護予防・日常生活支援サービス事業対象者の心身の健康維持及び要介護状態等の予防に資するため、住民主体のボランティア等により提供される運動やリクリエーションを行う事業で、平成 29 年より福祉フォーラム・東北が開始。運営に要する費用については陸前高田市から補助金が交付される（6,600 円/回）。

朝日のあたる家では、毎週月曜日と金曜日の百歳体操に合わせてスケジュールを組み、地域の方々との交流が毎回持てるようにしている。（スタッフとの昼食、体操、交流）

体操を行うことにより、身体・足腰の状態に関心を持つとともに、継続することの大切さを実感していた。普段の生活では家族や近隣とのコミュニケーションが不足しがちであったが、他の高齢者との交流により、話したり笑ったりする機会が増え、毎回楽しみに参加した。

令和 6 年度は計 69 回の実施。5 名が登録・参加した。

③ 認知症カフェ（アップルカフェ）

米崎町が認知症で OK！というまちになるようにとのコンセプトのもと開催。認知症の方、ご家族、知人、認知症のことが気になる人、専門職などどなたでも気軽に集まりひと時を過ごす場としている。陸前高田市地域包括支援センター、認知症と家族の会岩手支部等地域の専門職の方々と連携し、ミニ講話（10 分～20 分程度）や参加者との交流を図っている。

令和 6 年度は 9 回開催。参加者数は 167 名。

④ お出かけ広場 きらりんきっず

市内の子育て支援団体（NPO 法人きらりんきっず）との協働で、月に 1 度朝日のあたる家での親子の広場を開催。子育て中の家庭と地域をつなぐ場として、ワークショップなどの多世代交流も実施した。

令和 6 年度は計 9 回（うち地域交流 7 回）。参加者数は 42 名。

⑤ ほっとカフェ

障がいのある人もない人も気軽に集まり語らう場、障がいのある人への理解促進とを進めることを目的として、市内の相談支援事業所と協働で開催。就労継続支援 B 型事業所を利用している当事者が中心となって参加者にコーヒーをふるまったり、有志によるミニコンサートなども行った。

令和 6 年度は計 3 回開催。参加者数は 96 名。

※()は昨年度数

	陸前高田市 通所型サービス B 事業		アップルカフェ （認知症カフェ）		お出かけ広場 きらりんきっず		ほっとカフェ	
	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数
4 月	7(0)	4(0)	なし(14)		6(2)	1		
5 月	8(0)	4(0)	16(15)	1	2(2)	1		

6 月	12(2)	8(2)	20(16)	1	4(5)	1	33(15)	1
7 月	11(3)	8(3)	14(12)	1	2(3)	1		
8 月	10(3)	8(2)	10(9)	1	なし(なし)			
9 月	12(9)	8(5)	16(なし)	1	6(2)	1		
10 月	14(7)	8(4)	21(18)	1	なし(6)		32(35)	1
11 月	12(8)	7(4)	18(18)	1	5(0)	1		
12 月	7(4)	4(3)	27(23)	1	8(4)	1		
1 月	5(3)	4(3)	なし(なし)		5(9)	1		
2 月	5(4)	3(4)	25(16)	1	4(3)	1	38(37)	1
3 月	11(3)	3(3)	なし(18)		なし(4)			
合計	114(46)人	69(33) 回	167(159) 人	9(10) 回	42(40)人	9(10) 回	103(87) 人	3 回

<SDGs の連携推進に関する事業>

休眠預金活用事業での農福連携を推進させるため購入した粉碎機を活用し、椿茶一次加工後の枝、りんご剪定枝、圃場開拓の際に切り出した竹などをチップ状に粉碎し、有機肥料にして畑に戻す取り組みを昨年度から実施していた。

今年度は新たに、竹の伐採・粉碎処理を請け負ったことや、菌床しいたけ栽培をしている事業者から譲り受けた使用済みの菌床、ビール・ワイン醸造で出た搾りかすや缶詰製造事業者から譲られた野菜くず等も追加し、堆肥づくりが推進された。

圃場や放棄地の土壌改良などにも有効的で農地拡大や生産向上にもつながる取り組みとなっており、現際は試作段階で地域住民に無償で分けているが、今後、成分分析を依頼し、県への販売登録が済めば、農家等への販売も行う予定となっている。

3 理事会・評議員会等

(1) 令和 5 年度 理事会・評議員会 開催経過

開催日及び開催場所（方法）	出席者数	議題
令和 6 年度第 1 回理事会 令和 6 年 5 月 30 日決議 （オンライン会議）	理事総数 5 名 定足数 3 名 理事出席 5 名 監事出席 1 名	【承認事項】 ・ 令和 5 年度事業報告及び決算の承認 ・ 規程（案）の承認 (1) 倫理規程(案) (2) 公益通報者保護に関する規程(案) (3) コンプライアンス規程(案) ・ 令和 5 年度第 1 回評議員会（定時）招集の承認 【報告事項】 ・ 代表理事の職務執行状況の報告について

		・陸前高田市心の復興支援事業への応募について ・令和6年度復興庁地域づくりハンズオン支援事業への応募について ・就労支援事業所の設立に向けて（場所等）
令和6年度第1回評議員会 令和6年6月21日決議 （オンライン会議）	評議員総数6名 定足数4名 評議員出席5名 理事出席3名	【承認事項】 ・令和5年度事業報告及び決算の承認 【報告事項】 ・令和6年4月採用職員の報告 ・障がい者トライアル雇用検討の件
令和6年度第2回評議員会 （決議の省略による） 決議があったものとみなされた日 令和6年9月3日	評議員総数6名 評議員同意6名	【承認事項】 ・任期満了に伴う理事の選任（再任）の件
令和6年度第2回理事会 （決議の省略による） 決議があったものとみなされた日 令和6年9月11日	理事総数5名 理事同意5名 監事確認1名	【承認事項】 ・理事改選に伴い評議員の同意を得て再任となった理事の名から新田國夫理事を代表理事に再任する件
令和6年度第3回定時理事会 令和6年9月25日決議 （オンライン会議）	理事総数5名 定足数3名 理事出席5名 監事出席1名	【承認事項】 ・文書規程(案)の承認の件 【報告事項】 ・代表理事の職務執行状況の報告について ・就労継続支援B型事業所開設の進捗について ・公益財団認定申請について ・農林水産省ノウフク・アワード2024への応募について ・（公財）社会貢献支援財団 社会貢献者表彰への応募について ・（公財）JKA 競輪とオートレースの補助事業への応募について
令和6年度第4回定時理事会 令和6年12月18日 （オンライン会議）	理事総数5名 定足数3名 理事出席4名 監事出席1名	【承認事項】 ・就労継続支援B型事業所賃貸借契約書(案)の承認について ・規程(案)の承認について (1) 印章取扱規程(案) (2) 情報公開規程(案) 【報告事項】

		・令和6年度中間監査報告（事業・会計） ・代表理事の職務執行状況の報告 ・就労継続支援B型事業所開設の進捗について
令和6年度第5回理事会 （決議の省略による） 決議があったものとみなされた日 令和7年2月17日	理事総数5名 理事同意5名 監事確認1名	【承認事項】 ・設備資金の借財（借入）の承認 ・運転資金の借財（借入）の承認 ・借財（借入）に関する保証人の承認 ・経理規程(案)の承認 ・就労継続支援B型事業所「朝日のあたるファーム」運営規程(案)の承認
令和6年度第6回理事会 （臨時） 令和7年3月5日 決議 （オンライン会議）	理事総数5名 定足数3名 理事出席4名 監事出席1名	【承認事項】 ・令和6年度補正予算（案）の承認 【報告事項】 ・大船渡市の山火事による避難者受入れの状況について ・就労継続支援B型事業所の進捗について
令和6年度第7回定時理事会 令和7年3月19日 決議 （オンライン会議）	理事総数5名 定足数3名 理事出席4名 監事出席1名	【承認事項】 ・令和7年度事業計画(案)の承認 ・令和7年度収支予算(案)の承認 【報告事項】 ・代表理事の職務執行状況の報告について ・就労継続支援B型事業所開設等、現場進捗について

（2） 監査に関する事項

実施日及び実施場所（方法）	出席者	内容
令和5年度（事業・会計）監査 令和6年5月15日 （オンライン監査）	監事 板倉幸子 理事 野崎貴士 理事・事務局 白井薫子 白子会計事務所 白子和幸 白子会計事務所 山本貴子	・令和5年度の事業の進捗・成果について報告 ・令和5年度の決算報告 ・上記報告についての監事との質疑応答等
令和6年度前期 （事業・会計）監査 令和6年11月7日 （オンライン監査）	監事 板倉幸子 理事 野崎貴士 理事・事務局 白井薫子 白子会計事務所 白子和幸 白子会計事務所 山本貴子 平久尚美	・令和6年度4月～9月の事業の進捗・成果についての報告 ・令和6年度4月～9月の会計報告 ・上記報告についての監事との質疑応答等

(3) 事業会議（理事・財団事業担当者）の実施

現場側の動きの共有、協議、今後の財団運営、公益認定申請に向けての意見交換等を行う事業会議を実施。

参加者は、理事 5 名、鈴木事務局次長、（一社）トナリノ佐々木信秋氏（財務戦略委託）。

開催日	内容
令和 6 年 4 月 25 日	・事業の進捗報告 ・専門家定期報告
令和 6 年 7 月 31 日	・事業の進捗報告 ・専門家定期報告 ・就労継続支援 B 型事業所開設について
令和 6 年 8 月 30 日	・事業の進捗報告 ・専門家定期報告
令和 6 年 9 月 27 日	・事業の進捗報告 ・専門家定期報告
令和 6 年 11 月 1 日	・事業の進捗報告 ・専門家定期報告 ・日本財団への補助金申請について（社会的インパクト評価の実施）
令和 6 年 11 月 29 日	・就労継続支援事業所開設に向けての協議 (1) 改修・準備に係る費用見積結果 (2) 計画の修正 (3) 開設後の収支 (4) 融資 (5) 賃貸借契約書（案） ・専門家定期報告
令和 6 年 2 月 27 日	・気仙沼信用金庫高田支店長からのご挨拶 ・融資について ・就労継続支援事業所開設に向けての進捗報告 (1) 事業所名、事業計画、収支見込等 (2) 申請書類について ・職員の新規採用について ・今後の動きについて ・専門家定期報告

4 施行規程類

- ① 倫理規程（令和 6 年 5 月 30 日制定）
- ② 公益通報者保護に関する規程（令和 6 年 5 月 30 日制定）

- ③ コンプライアンス規程（令和 6 年 5 月 30 日制定）
- ④ 文書管理規程（令和 6 年 9 月 25 日制定）
- ⑤ 印章取扱規程（令和 6 年 12 月 18 日制定）
- ⑥ 情報公開規程（令和 6 年 12 月 18 日制定）
- ⑦ 経理規程（令和 7 年 2 月 17 日制定）
- ⑧ 就労継続支援 B 型事業所「朝日のあたるファーム」運営規程（令和 7 年 2 月 17 日制定）

5 寄附について

寄附の種類や管理フローを整備し、令和 6 年 1 月 16 日の事業会議において協議、合意、3 月に本格的運用を開始した。

- ・寄附については、「単発寄附」と「維持会員による継続寄附」とする。
- ・維持会員からの寄附については、維持会員規則（令和 6 年 2 月 22 日制定）に則り運用する。
- ・事業報告書、パンフレット、ホームページ等を活用して寄附を募る。
- ・寄附の決済に関しては、銀行振り込みのみで対応する。
- ・管理の状況は、現場定例会議や事業会議で報告していく。

令和 6 年度寄付者 3 件

- ① <寄附者> 株式会社バンザイ・ファクトリー（大船渡市）
 <寄附日> 令和 6 年 10 月 22 日
 <寄附金額> 100,000 円
 <指定寄附> 椿茶事業（甘茶苗）
- ② <寄附者> 一般社団法人レッドカーペットプロジェクト（陸前高田市）
 <寄附日> 令和 6 年 10 月 22 日
 <寄附金額> 50,000 円
 <指定寄附> 椿葉事業（甘茶苗）
- ③ <寄附者> 高橋 和良（陸前高田市）
 <寄附日> 令和 6 年 10 月 22 日
 <寄附金額> 50,000 円
 <指定寄附> 椿事業（甘茶苗）

6 助成金申請等

令和 6 年度は、農福連携の更なる推進と資源循環構築に向けて必要となる新たな事業への補助金申請を行った。また、多世代参加型生きがい支援についても活性化を図るべく補助金の申請に挑戦した。

	申請	結果	事業年度	助成金等
1	令和 6 年度陸前高田市心の復興交流事業	採択	令和 6 年度	交付決定額

	「地域資源を活用したつながりと生きがいの好循環による心の復興」			1,828,000 円 最終精算額 ¥1,776,000 円
2	復興庁「令和 6 年度地域づくりハンズオン支援事業」 「被災地の未来を創造するための社会的インパクトの可視化と発信プロジェクト」	不採択	令和 6 年度	専門家派遣
3	2024 年農林水産業みらいプロジェクト 「過疎地域のみらいをつくる農福連携を核とした農業のエコシステム」	不採択	令和 6 年度	33,841,800 円で申請
4	日本財団 2025 年度公益・福祉募集 「過疎地域における小規模農家と就労支援事業所による農福連携の確立」	不採択	令和 7 年度	
5	2025 年度 JKA 補助事業 「竹の伐採～活用を通じた被災者の生きがい・働きがいの好循環」	不採択	令和 7 年度	2,893,000 円で申請
6	公益財団法人木口財団 2025 年度地域福祉振興助成 「重量選別機の導入」	申請中	令和 7 年度	
7	公益財団法人 社会貢献支援財団 社会貢献者表彰	申請中	令和 7 年度	

7 就労継続支援事業所開設について

休眠預金活用事業の最終目的である農業に特化した就労支援事業所開設に向け、場所の選定や活動計画を更新しながら検討を重ねてきたが、当初希望していた廃校の利活用が陸前高田市の意向により断念せざるを得なくなったため、新たな場所を模索したところ、旧石材店の建物・敷地を賃貸できることとなった。現在の設備等では福祉事業の活動には不十分であるため改装が必要となったが、初期投資にかなりの負担が生じるため、まずは朝日のあたる家を事業所として登録、活用。賃貸物件の倉庫や事務所棟、駐車場を作業場として使用しながら、徐々に機能を移転させていく計画へ変更した。

(1) 賃貸借契約について

契約開始日 令和 7 年 1 月 14 日～令和 8 年 3 月 31 日

土地賃料 200,000 円

建物賃料 50,000 円（事務所棟 1 棟・倉庫 1 棟）

※令和 8 年 4 月 1 日分より建物賃料 100,000 円（事務所棟 2 等・倉庫 1 棟）

(2) 設備資金の借財（借入）について

就労継続支援B型事業所で使用する倉庫棟整備、消防設備設置及び冷蔵庫設置工事資金が必要であり、気仙沼信用金庫との間で下記条件で借入を行った。

借入日：令和7年2月25日

借入額：金八百四拾萬円

返済日：令和14年2月20日

金利：年2.5%（3年固定・新短プラ）

損害金：年14.6%

返済方法：令和7年3月20日を第1回とし、毎月20日に元金100,000円84回宛の元金均等返済とする。

（3） 運転資金の借財（借入）の件

就労継続支援B型事業所で雇用する職員2名の人件費支払資金が必要であり、気仙沼信用金庫との間で、下記の条件で借入れを行った。

借入日：令和7年2月25日

借入額：金壹百五拾萬円

返済日：令和7年8月25日（6カ月）

金利：年3.0%

損害金：年14.5%

返済方法：期日一括返済。（但し、期日にて借換え可能）

（4） 工事・設置等業者

有限会社 小松博行建築事務所

株式会社 石川水道工業

高田共立電気

ライフ工業株式会社

有限会社一関防災設備

8 大船渡市の山林火災における避難者の受入れ

令和7年2月26日に発生した大船渡市の山林火災において、当財団職員の自宅が避難指示をうけたことから、避難者の受入れを開始。2月28日から3月10日まで計5名の受入れを行った。